

障がい福祉瓦版

ひきこもりについて



■申し込み・問い合わせ先 市障がい児者相談支援センター ☎(37)9970

皆さんは「ひきこもり」と聞いて、どんなことを思い浮かべますか？

最近では、テレビで特集が組まれたり、ドラマ化されたりすることもあり、ひきこもりについて知る機会が以前よりは増えたかもしれません。しかし、まだまだ偏見や中傷が多くあることは否定できません。そんな中、身近な方がひきこもり状態になったとき、それを受け入れることは簡単ではありません。

今回は、ひきこもりについてお伝えします。

ひきこもりとは？

ひきこもりとは、学校や仕事などに行かず、家族以外の人との交流をほとんどもたずに、家庭に6か月以上ひきこもっている状態のことをいいます。成績低下やいじめ、就職の失敗、人間関係のもつれなど、きっかけは様々です。そのため、多くのストレスにさらされる現代社会の中では、若年から中高年世代まで、誰にでも起こりうる身近な社会問題と言えます。



8050(ハチマルゴーマル)問題

8050問題とは、80歳代の親と50歳代の子どもが、社会から孤立した状態で生活し、経済面や健康面などで、困難を抱えた状態にあることをいいます。

必ずしも親が80歳代、子どもが50歳代と決まっているわけではありませんが、ひきこもりが長期化することで、この8050問題が引き起こされることがあります。

親が高齢化すると、収入が減少したり、親自身が介護が必要な状態になったりして、いつかは子どもの世話ができなくなるときが来てしまいます。社会から孤立したままの状態では、最悪の場合、親子共倒れといった悲劇も起こりえます。



まずは相談を

平成30年の内閣府の調査では、満40歳から64歳までのひきこもりの方は、全国で推計61.3万人と報告されています。これだけの数がいっても、どうしてもご家族が世間体を気にしてしまうことや、ひきこもりに対する一般的な理解が深まっていないことから、問題が表面化しづらい傾向があります。

悩みをご家族だけで抱え込まないことが、解決への第一歩です。ぜひ相談窓口をご活用ください。

事業所名	概要	問い合わせ先
社会福祉課	本人やご家族からの相談、必要に応じて関係機関につなぐお手伝い	☎(32)8900
くらし応援センターささえーる(生活困窮者自立相談支援事業)	生活困窮やひきこもりなど、家族のことで困っている方の相談・お手伝い	社会福祉協議会 ☎(43)1236
若者サポート・ハチドリの会(市民活動補助事業)	社会とうまくつなげられずに、家にこもっている人やそのご家族のお手伝い・相談	渡邊洋一 ☎090(5757)5021
栃木県子ども若者・ひきこもり総合相談センター(愛称：ポラリス☆とちぎ)	様々な悩みや困難を抱える子ども・若者とその家族の方などの相談、家族セミナー等の開催 中高年ひきこもり電話相談(概ね40~64歳)	☎028(643)3422 ☎028(643)3438
栃木県精神保健福祉センター	ひきこもりや自殺念慮などの様々な問題に悩むご本人やご家族の相談	☎028(673)8785

相談会のお知らせ

ひきこもり相談会を開催します。詳しくは32ページをご覧ください。

心配やお悩みがありましたら、相談会以外でもお気軽にお問い合わせください。

